


京都府立図書館 × 京都コンサートホール コラボレーション

ドビュッシー没後100年企画 Part2 

レクチャー & 音楽鑑賞

(生演奏はありません)

8/12(日)

午後2:00~3:00

場所: 府立図書館3階マルチメディア室

申込: なし(先着50名)

参加費: 無料

レクチャー

「ドビュッシーとエンマ・バルダックをめぐる音楽」

講師: 高野裕子氏 (京都コンサートホール事業企画課)

🎵 音楽鑑賞: ナクソス・ミュージック・ライブラリーでドビュッシーを聴きます。

● ドビュッシー関連資料リスト配布、コーナー設置、パネル展示を府立図書館エントランス等で行っています。(5/25~8/22)

NAXOS MUSIC LIBRARY (ナクソス・ミュージック・ライブラリー)

クラシックを中心に、CD約12万枚を聴ける音楽配信サービスです。

府立図書館2階マルチメディア閲覧室で利用できます。

京都府立図書館

〒606-8343 京都市左京区岡崎成勝寺町

地下鉄「東山」徒歩10分

TEL 075-762-4655 FAX 075-762-4653

開館時間: 火曜日~金曜日 午前9時30分~午後7時
土・日曜日、祝日 午前9時30分~午後5時

休館日: 月曜日(祝日及び振替休日は開館、翌日が休館)
毎月第4木曜(祝日は開館)、年末年始
特別整理期間



講師：高野裕子氏によるレクチャー

「ドビュッシーとエンマ・バルダックをめぐる音楽」

芸術の都パリ——ベル・エポックと呼ばれたその当時、音楽と女と夢に生きた1人の男がいました。その名はクロード・ドビュッシー。

1862年にパリ近郊の町サン・ジェルマン・アンレーで生まれたドビュッシーは、1918年に亡くなるまでの56年間、出会いと別れを繰り返しながら創作活動に励みました。

その中でも特に、二番目の妻となるエンマ・バルダックとの出会いは彼に大きな影響を与えることになりました。

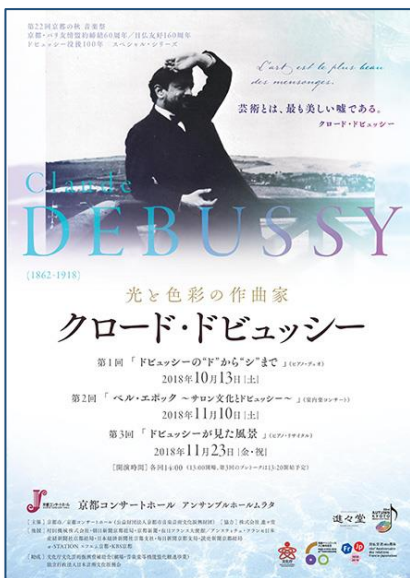
この講座では、二人の関係性と音楽作品にスポットライトを当て、ドビュッシーの素顔に迫ります。



クロード・ドビュッシー (1862. 8. 22-1918. 3. 25)

フランスの作曲家。その変革が現代芸術に対してもつ深い意味からマラルメ、セザンヌに比せられる。象徴派の風土の中で「ヴァーグナーに倣（なら）わずその先を尋ね」（ドビュッシー）、伝統的な構成と要素を問い直し、響きに重い役割を与えて幻視的な音楽を書く。

(『集英社世界文学大事典』より)



- 京都コンサートホール「光と色彩の作曲家
クロード・ドビュッシー」 [検索](#)
- ロームシアター京都 リレーエッセイ 高野裕子
「ドビュッシーと『楽譜に書かれていないもの』」 [検索](#)
- 京都コンサートホールオフィシャルブログ [検索](#)